



キドラット・タヒミックをめぐる対話

アジア映画研究会・特別公開イベント

国際交流基金アジアセンターとアジア映画研究会は、特別公開イベント『キドラット・タヒミックをめぐる対話』を開催します。

アジア映画研究会は、アジア映画の研究・批評の推進をめざしているアジア映画専門家の集いで、月例で研究会を実施しています。本年の掉尾を飾る12月は特別公開イベントとして、アジア・インディペンデント映画の草分けとして知られるキドラット・タヒミック監督（フィリピン）を取り上げます。

タヒミックと長年の親交を持つ清水展氏（京都大学東南アジア研究所教授、文化人類学者）による日本未公開作品の上映を交えた講演に加え、1980年代からタヒミックを論じてきた四方田犬彦氏（映画史家・比較文学研究家、アジア映画研究会会員）と清水氏との対談をおこないます。四方田氏は『映像の招喚—エッセ・シネマトグラフィック』（青土社、1983年）でわが国最初のタヒミック論を発表し、片や清水氏の『草の根グローバリゼーション—世界遺産棚田村の文化実践と生活戦略』（京都大学学術出版会、2013年）には最も新しいタヒミック論が含まれています。「最初」と「最新」の論者による対話にご期待ください。

●キドラット・タヒミック Kidlat Tahimik（映画作家、インスタレーション&パフォーマンス・アーティスト）

1942年バギオ生まれ。フィリピン大学（UP）卒業後、米ペンシルバニア大学大学院で経営学の修士号を取得。パリの経済協力開発機構（OECD）研究員を経て、ヴェルナー・ヘルツォークに師事して映画制作を開始。帰国後に発表した第1作『悪夢の香り』（77）は同年のベルリン国際映画祭で国際映画批評家連盟賞を受賞し、翌年にはフランス・フォード・ Coppola が配給してアメリカで公開された。日本では同作が1982年の国際交流基金映画祭で上映されたのを嚆矢として、『月でヨヨー』（79）、『トゥルンバ祭り』（83）、『竹寺モナムール』（90）などが紹介され、『虹（キドラット）のアルバム—僕は怒れる黄色'94』（94）はシネマトリックス配給により一般公開された。小川紳助—小川プロダクションとの交流のもと、1990年代以降は山形国際ドキュメンタリー映画祭に欠かせぬ存在として審査員もつとめている。2012年には福岡アジア文化賞を受賞した。また、上映と併催して先住民イゴロ族のグループと踊りや寸劇のパフォーマンスを行い、美術の分野でも、埼玉県飯能市の竹寺や新潟県の越後妻有にしばしば長期滞在して、インスタレーションや映像作品を創作するなど、ジャンルを越境するアーティストとして幅広く活躍している。1986年にはバギオ・アート・ギルドを創設し、若手アーティストの育成にも尽力している。



清水 展

清水 展（しみずひろむ）京都大学東南アジア研究所教授。専門は文化人類学、フィリピン研究。近年は、周辺・辺境地域におけるグローバル化の進行に関心をもち、フィリピン北部ルソン先住民イフガオのハバオ村（キッドラット・ドキュメンタリーの舞台）で、村民の海外出稼ぎと、住民主導の植林、開発、文化復興の運動の調査を続けている。1970年代から社会を映す鏡としてフィリピン映画を見ている。主な著書に『草の根グローバリゼーション：世界遺産棚田村の文化実践と生活戦略』（京都大学出版会）、『噴火のこだま：ピナトゥボ・アエタの被災と新生をめぐる文化・開発・NGO』（九州大学出版会）など。



四方田 犬彦

四方田犬彦（よまた いぬひこ）映画史・比較文学研究者。明治学院大学でながらく映画史の教鞭を執ったほか、建国大学校、中央大学校（韓国）、コロンビア大学、ポーロニヤ大学、テルアヴィヴ大学（イスラエル）、プリシュティナ大学（コソボ）、国立清華大学（台湾）などで客員教授・客員研究員を務める。映画、文学、美術、音楽、料理、漫画、都市論と多様な分野で批評活動を行っており、アジア映画関連の著書に『アジアのなかの日本映画』（岩波書店）『アジア映画の大衆的想像力』（青土社）『怪奇映画天国アジア』（白水社）『アジア全方位』（晶文社）がある。



石坂 健治

石坂健治（いしがけんじ）東京国際映画祭アジア部門ディレクター／日本映画大学教授。共著に『ドキュメンタリー—海へ—記録映画作家・土本典昭との対話』（現代書館）、『アジア映画の森—新世紀の映画地図』（作品社）など。タヒミック監督とは東京と福岡でイベントをやり、マニラ、バギオ、山形などでご飯を食べました。

2014年12月18日（木）
18:00 – 20:30（開場17:30）

国際交流基金JFICホール（さくら）

東京都新宿区四ツ谷4-4-1

地図：www.jpf.go.jp/j/about/outline/contact

予約・お問合せ

国際交流基金アジアセンター 文化事業チーム

Email: jfac_vdp_info@jpf.go.jp

詳しくはこちら

URL: <http://jfac.jp/culture/tahimik/>

主催：国際交流基金アジアセンター
アジア映画研究会

共催：京都大学東南アジア研究所